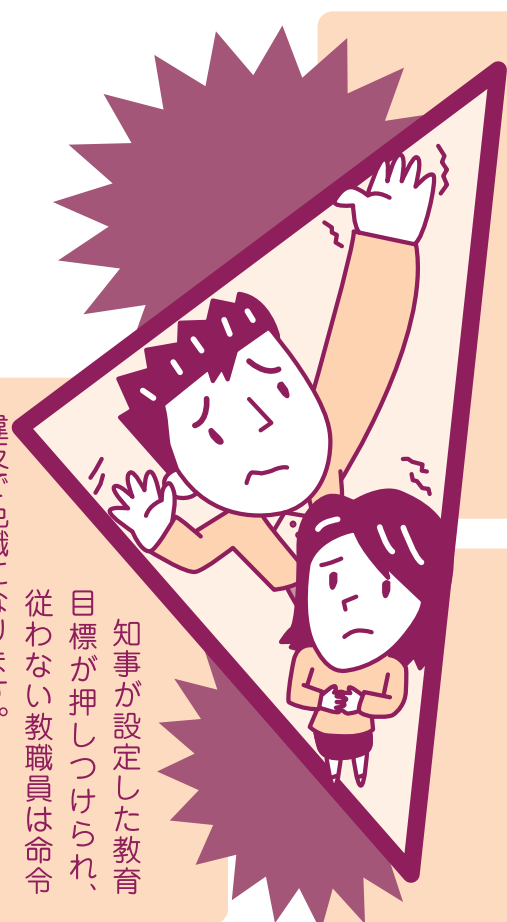


これは 大変

「競争」と「切り捨て」の教育が広がり、 子どもたちの成長と発達を大きくゆがめます

—大阪維新の会が「教育基本条例案」「職員基本条例案」を提案—

大阪維新の会が9月府議会に提出した「教育基本条例案」「職員基本条例案」は、知事が教育目標を決め、従わない教育委員や校長・教職員を「命令・処分」で排除しようとする大変な中身です。これでは学校の教育は壊され、大混乱し、その影響はすべて子どもたちにしわ寄せされます。



**学力テストの学校別
結果公表を強要**

学校選択制を導入

「できる学校」「できない学校」が区分され、「できない学校」の子どもたちは切り捨てられ、「できる学校」ではますます競争が激化。子どもたちの成長と発達を保障する場である学校は、一部のエリート育成の場に大きく変えられます。

**府立高校の学区を撤廃し、
定員割れ高校は統廃合で
中学生、高校生の学ぶ権利が
さらに奪われます**

学区の廃止で中学校の進路指導は大混乱。遠距離通学や希望に合わない進路選択で生徒や保護者に大きな負担がかかります。3年連続で定員割れの学校は統廃合というやり方で学校をつぶせば、高校に行きたくても行けない子どもが生み出されます。

知事が設定した教育目標が押しつけられ、従わない教職員は命令違反で免職になります。教職員は数値目標に追い立てられ、子どもたちも教職員の顔色をうかがい、子どもたちの居場所がなくなっていくきます。

子どもたちから笑顔や笑い声がなくなり、殺伐とした学校になります。

**知事の意のままの学校
目標押しつけ**

**数値目標に追い立て
られる校長や教職員**

政治が「強制」と「処分」で教育支配することは許されません。戦前の教育が政治に支配され、競争への道をすすんだことへの反省から戦後、教育委員会が教育の独立、中立性を保つために設置されたのです。今回の条例案はこれを根底から破壊するものです。